

あねったいかいようせいきこう ねんかんとおしてあたたかいおきなわ ちゆうごく どうなん あじ あ えいきよう う け たけん ことなつたどくじ みち あゆんで
亜熱帯海洋性気候で年間通して暖かい沖縄。中国・東南アジアからの影響も受け、他県とは異なった独自の道歩んできました。
さんご礁をはじめとした自然の美しさは、国内だけでなく世界的にも屈指のものです。

おきなわ がいよう 沖縄の概要



にほん さいなんたん いち おきなわけん けんちようしよざいち
日本の最南端に位置する沖縄県は、県庁所在地の
なほし おきなわけん だいしやう160
那覇市のある沖縄本島をはじめとした大小160の
しまじま なりたつて います。その中で人が住んでい
る島は、おきなわけん いしがしま みやこしま 49とう
沖繩本島・石垣島・宮古島など49島ありま
す。現在、おきなわけん じんこう 137まんにん せんご
沖繩県の人口は約137万人で戦後から
じんこう ぞうかしつづけて います(参考:平成19年人口
いどうほうこくねんぼう おきなわけん)
移動報告年報(沖縄県))。また、おきなわけん とうくしゆ
沖繩県の合計特殊
しゆつしゆりつ 1.78 ぜんこく 1ばん
出生率は1.78と全国で1番です(参考:平成20年度
じんこうどうたいとうけい こうせいろうどうしやう おきなわ きこう
人口動態統計(厚生労働省))。沖縄の気候は一年
をとおしてあたたかいあねったいかいようせいきこう
を通して暖かい亜熱帯海洋性気候であるため、

まふゆ 10どい か ひはほとんどなく、10がつ かいすいよく たのしむ
真冬でも10℃以下になる日はほとんどなく、10月まで海水浴を楽しむことができます。一方で、6月～10月には平均7、8回の
たいふう せつきん じやうりく おおきなひが
台風が接近・上陸し、大きな被害がでることもあります。

おきなわ 沖縄の暮らし



おきなわ きこう ふうど とくちやう せいかつ たくさんとりこんで
沖縄では、気候や風土の特徴を生活に沢山取り込んでいま
す。例えば、たいふう に備えて、昔からフクギという木や石垣の
へい いえ まわり かこいたいふう そなえて げんざい
塀で家の周りを囲い台風に備えていました。現在では、
こんくりーとで作られた家が、やねを平らにすることで
たいふうたいさく
台風対策をしています。沖縄で島と島を移動するには飛行機
かふね がありますが、とうないでは主に路線バスやタクシーが
りようされています。また、かんこうきゃくむけ れんたかー
観光客向けにはレンタカーや
れんたさいくるなども貸し出しされています。

おきなわ ひとびと 沖縄の人々



おきなわ ひとびと はなすどくとく ほうげん 3 6せいきころ にほん
沖縄の人々が話す独特の方言は、3～6世紀頃に日本
そご えだわ か れ てどくじ はってん とげ た かんがえられて
祖語から枝分かれて独自の発展を遂げたと考えられて
います。一口に沖縄方言といっても本島・奄美・宮古・
ひとくち おきなわけん ほんとう あまみ みやこ
八重山といった地域により発音などが異なり、県民同士
でも言葉が通じにくいことがあるほどです。また、沖縄の
ひとびと せんぞ うやまい たいせつ まつるふうしゆう ねづいて
人々には先祖を敬い、大切に祀る風習が根付いていま
す。トートメー行事という家庭内の位牌をまつる
とーとーめーぎやうじ かていない いはい
年中行事や祖先の霊を供養するために旧盆の時期に
ねんじゆうぎやうじ そせん れい くやう きゆうほん じ き
沖繩各地で踊られるエイサーなど、日常生活や地域
おきなわ かくち おどられるえいきー にちじやうせいかつ ちいき
行事の中で今も受け継がれています。

